

大腿骨近位部骨折バリデーション研究について

2026 年 7 月 28 日

JCHO りつりん病院整形外科

現在当院では、医療情報データベースから特定の疾患や治療を受けた患者さまを正確に抽出する手法の妥当性を評価する研究（バリデーション研究）を行っています。医療情報データベースを用いた研究の信頼性向上に役立てることを目的として、この研究では診療情報等を利用いたします。診療情報等がこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

大腿骨近位部骨折バリデーション研究

2. 研究の意義・目的

本研究では、高齢者に多くみられる大腿骨近位部骨折を、レセプト情報から正確に特定する方法を探索することを目的としています。本研究により、医療情報データベースを活用した骨折の予防や治療に関する研究の精度向上につながり、高齢者医療の質の向上に役立つことが期待されます。

3. 本研究の研究対象となる方

2011 年 4 月から 2025 年 3 月までに当院で診療された 65 歳以上の患者さまで、レセプト情報において大腿部近位部骨折の傷病名コードが付与された方。

4. 研究の方法

本研究では、レセプト情報から研究の対象となる患者さまを抽出する方法が適切であるかを確認するため、カルテの内容を確認します。カルテの内容と抽出結果を確認することで、対象者を正しく抽出できているかを評価します。解析に用いるデータは、年齢、性別、診療科名、傷病名、修飾語、骨折発症日、受診年月日、入院年月日、紹介受診の有無、画像診断実施の有無、画像診断実施日、診療行為、診療行為日などです。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、個人を特定できないよう匿名化した上で管理し、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。解析に用いるデータは、香川大学医学部附属病院臨床研究支援センターで稼働するシステムに入力し、管理します。

6. 外部への試料・情報の提供

本研究で収集した情報は、個人を特定できる情報を除いた状態で共同研究機関へ提供し、研究目的にのみ利用します。

7. 研究組織・責任者

香川大学医学部附属病院 整形外科 根ヶ山敬大（研究代表者）
香川大学医学部附属病院 整形外科 石川正和
香川大学医学部附属病院 整形外科、ヘルスケア AI 活用講座 山田佳明
香川大学医学部附属病院 整形外科 川田明伸
香川大学医学部附属病院 医療情報部 横井英人
香川大学医学部附属病院 医療情報部 三上史哲
りつりん病院 整形外科 秋田光輝（共同研究機関の研究責任者）
りつりん病院 整形外科 福岡達郎
徳島文理大学 香川薬学部 飯原なおみ（共同研究機関の研究責任者）
徳島文理大学 香川薬学部 冨田淳子

8. ご自身等の診療情報などを本研究に利用してほしくない場合

ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、この研究に診療情報を使ってほしくないとのことご意思がある場合は、下記お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

9. 本件のお問合せ先

JCHO りつりん病院 整形外科 秋田光輝
連絡先：087-862-3171（代表）